

1. 共通プラットフォームの概要

1.1. 共通 PF 概要

共通PFは、ハイパーバイザーを用いて仮想化環境を構築し、各システム用に仮想マシンを払い出すとともに、監視機能やデータセンター（以下、「DC」とする。）へのバックアップ機能など、運用に必要となるサービスを提供する。共通PFにおいて、仮想環境下におけるOracle社のライセンスの関係上、「Oracle 基盤サーバ群」と「仮想化基盤サーバ群」から構成され、それぞれ異なるハイパーバイザーソフトウェアを採用することで異なる仮想化環境を構築している。

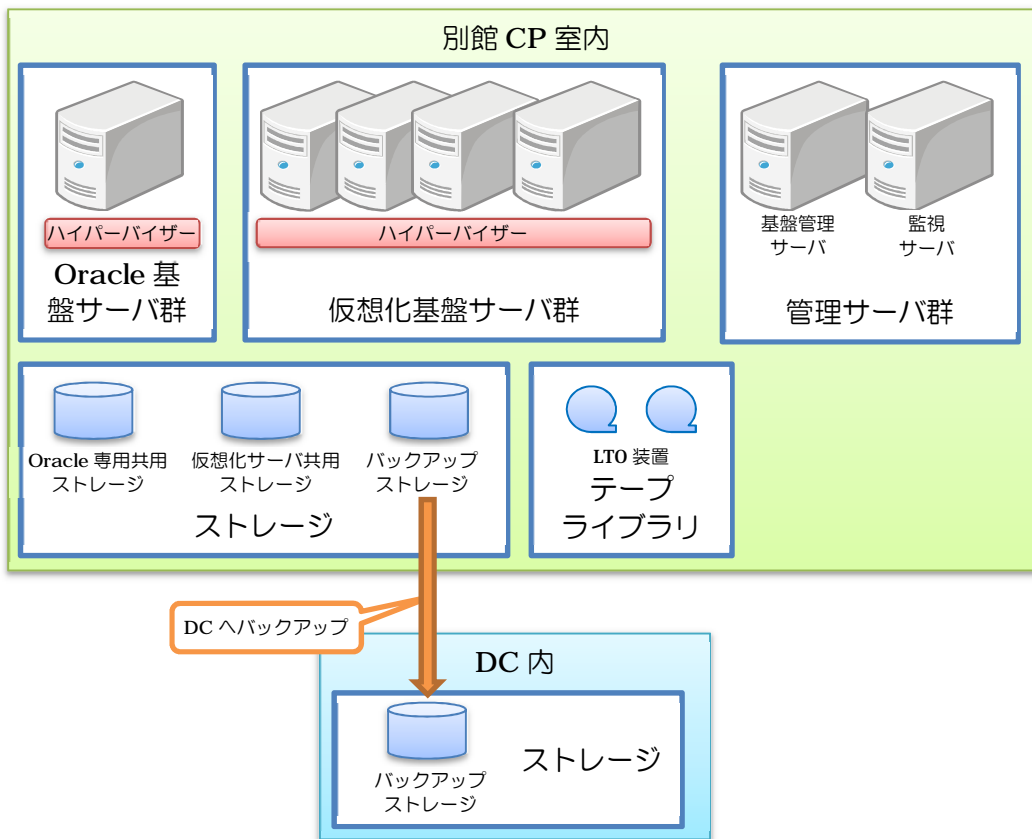


図 1 共通プラットフォーム構成図（概要）

1.2. 提供機能一覧

表 1 提供機能一覧

	機能	説明
1	仮想マシン機能	共通 PF で提供する仮想マシン稼働環境
2	バックアップ機能	共通 PF で提供するバックアップの機能 (1次 (CP室内)、2次 (DC)、 遠隔地バックアップ (LTO 搬送))
3	運用監視機能	共通 PF で提供する運用監視の機能
4	保守機能	共通 PF で提供する保守の機能
5	冗長機能	共通 PF で提供する仮想化サーバの冗長機能

(別紙2) 共通プラットフォームの概要

2. 仮想基盤環境

2.1. 各機器仕様

主要な機器のスペックは以下の通り。

表 2 機器仕様

装置	スペック
仮想化基盤サーバ	インテル® Xeon プロセッサ Gold 6152(22 コア)×2
仮想化サーバ共用ストレージ	RAID 1+0 構成 15,000rpm の 2.5 インチ SAS HDD で構成

2.2. 耐障害性・可用性

共通 PF で使用するサーバ、共有ストレージ、ネットワーク機器などについては、以下のような耐障害性、可用性を備えている。

表 3 耐障害性・可用性

装置	耐障害性・可用性
ホストサーバ	ハードディスクの RAID 構成 電源・ファンの二重化 LAN の冗長化 仮想化基盤サーバの冗長構成(4台構成)
共有ストレージ	ハードディスクの RAID 構成 電源・ファン・コントローラ・FC(ファイバチャネル)装置の二重化
FC スイッチ	電源の二重化 FC スイッチの冗長化
ネットワーク機器	装置 2 台をクラスタリングしたファブリック構成 電源の二重化
ファシリティ	メイン環境：府庁別館CP室 バックアップ環境：データセンター

2.3. ソフトウェア構成

共通 PF を構成する主なソフトウェアは下記のとおりである。

表 4 ソフトウェア構成

機能	ソフトウェア名
仮想化ソフト (ハイパーバイザー)	VMware(仮想化基盤サーバ)
バックアップソフト	Arcserve UDP 6.5
監視ソフト	Systemwalker Centric Manager Standard Edition V15
ウイルス対策ソフト	Symantec Endpoint Protection (管理サーバは庁内に既設のものを利用)